

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 3 年RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	公民/政治経済	Class hours 時間数	6時間 / 週
----------------------------------	----------------	---------------------------------	---------	--------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	政治編①：国家と政治の歴史	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	書き込みノート 政治経済 (Gakken) 新政治・経済問題集 2300語 (清水書院)
------------------------------	---------------	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	国家成立の思想・国家の諸原則・人権保障の原理・人権の歴史・世界の政治制度を理解し入試問題に対応できる力を身に着ける。。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
楽	A3 事象の因果関係を把握することができる。	B3 資料や出来事・制度を比較し、その特徴などを読み取ることができる。	C3 現代と未来に向けた議論の裏づけとなるデータを作成することができる。	A3 人権宣言から国際的な人権保障までの流れを理解する。	B3 国際的な人権保障までの流れを理解し、説明できる。	C3 政治と法と国家を体系づけ、さらに現代の事象の課題を発見し解決法を考察する。
好	A2 社会的事象を理解し、また それを他者に説明することができる。	B2 複数の資料から情報を読み取ることができる。	C2 仮説・推論を立て、資料を用いて自身の仮説・推論の妥当性を検証することができる。	A2 ホブス・ロック・ルソンの社会契約説の違いを理解する。	B2 社会契約説と市民革命の関連を理解し説明できる。	C2 政治と法と国家を体系づけて、それらに関連する事象の課題が発見できる。
知	A1 それぞれの単元の用語を理解することができる。	B1 公民的事象の因果関係を体系的に説明することができる。	C1 それぞれの仕組み、制度や社会的事象の問題を自ら発見することができる。	A1 王権神授説と社会契約説の生まれた背景に注目し違いを理解する。	B1 王権神授説と社会契約説の違いを理解し、それが導く論理的な結論を理解する。	C1 人権を保障する法の成立までの歴史的流れを把握し、課題を発見する。
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法>①一門一答用語試験問題 ②センター試験過去問題 ③国公立難関大過去論述問題 ④定期試験 <ICT> ①Google Form ②Keynote
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018  
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 3 年RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	公民/政治経済	Class hours 時間数	6時間 / 週
----------------------------------	----------------	---------------------------------	---------	--------------------	---------

**1学期 期末試験 Term 1 Final**

Name of Unit, Project 単元名	政治編②：日本の政治	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	書き込みノート 政治経済 (Gakken) 新政治・経済問題集 2300語 (清水書院)
------------------------------	------------	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	日本国憲法の制定、日本国憲法の三大原理、日本国憲法の政治制度、現代社会の諸問題を理解し、入試問題に対応できる力を身に着ける。
---------------------------	--

**Class Standards 評価規準**

<b>察</b>	<b>A3</b> 事象の因果関係を把握することができる。	<b>B3</b> 資料や出来事・制度を比較し、その特徴などを読み取ることができる。	<b>C3</b> 現代と未来に向けた議論の裏づけとなるデータを作成することができる。
<b>好</b>	<b>A2</b> 社会的事象を理解し、また それを他者に説明することができる。	<b>B2</b> 複数の資料から情報を読み取ることができる。	<b>C2</b> 仮説・推論を立て、資料を用いて自身の仮説・推論の妥当性を検証することができる。
<b>知</b>	<b>A1</b> それぞれの単元の用語を理解することができる。	<b>B1</b> 公的事象の因果関係を体系的に説明することができる。	<b>C1</b> それぞれの仕組み、制度や社会的事象の問題を自ら発見することができる。
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>

**Learning Objectives 学習内容**

<b>A3</b> 日本国憲法に定められる政治制度を理解する。	<b>B3</b> 判例を時代的背景や論点を整理し、司法の判断を説明できる。	<b>C3</b> 憲法や政治に関わる現代事象を批判的に考察し、対案を提案できる。
<b>A2</b> 日本国憲法の三大原理を理解する。基本的人権の内容を理解する。	<b>B2</b> 憲法における人権保障の在り方を説明できる。	<b>C2</b> 憲法や政治制度に関わる課題を発見し考察し、解決策を提案できる。
<b>A1</b> 明治憲法・日本国憲法の違いを理解する。	<b>B1</b> 明治憲法から日本国憲法の違いを説明できる。	<b>C1</b> 憲法や政治制度に関わる課題を発見し考察する。

<b>Others 備考</b>	<評価方法>①一門一答用語試験問題 ②センター試験過去問題 ③国公立難関大過去論述問題 ④定期試験 <ICT> ①Google Form ②Keynote
----------------------	--

MITA International School Syllabus 2018  
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 3 年RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	公民/政治経済	Class hours 時間数	6時間 / 週
----------------------------------	----------------	---------------------------------	---------	--------------------	---------

**2 学期 中間試験 Term 2 Midterm**

Name of Unit, Project 単元名	経済編①：経済原理	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	書き込みノート 政治経済 (Gakken) 新政治・経済問題集 2300語 (清水書院)
------------------------------	-----------	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	経済体制の違い、市場経済の仕組み、通貨・金融・財政の仕組み、国民所得と景気変動、戦後の日本経済と諸問題を理解し、入試問題に対応できる力を身に着ける。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
<b>楽</b>	<b>A3</b> 事象の因果関係を把握することができる。	<b>B3</b> 資料や出来事・制度を比較し、その特徴などを読み取ることができる。	<b>C3</b> 現代と未来に向けた議論の裏づけとなるデータを作成することができる。	<b>A3</b> 国民所得・景気変動・経済成長と戦後の日本経済の流れを理解する。	<b>B3</b> 国富と国民所得、景気変動を整理しそれぞれ内容を説明できる。	<b>C3</b> 時代の変化に応じた持続可能な経済政策を考察し説明できる。
<b>好</b>	<b>A2</b> 社会的事象を理解し、またそれを他者に説明することができる。	<b>B2</b> 複数の資料から情報を読み取ることができる。	<b>C2</b> 仮説・推論を立て、資料を用いて自身の仮説・推論の妥当性を検証することができる。	<b>A2</b> 通貨・金融・財政の仕組みを理解する。	<b>B2</b> 金融政策・財政政策の内容を整理し説明ができる。	<b>C2</b> 日銀や政府の金融財政政策を批判的に考察し、自分の考えを説明できる。
<b>知</b>	<b>A1</b> それぞれの単元の用語を理解することができる。	<b>B1</b> 公民事象の因果関係を体系的に説明することができる。	<b>C1</b> それぞれの仕組み、制度や社会的事象の問題を自ら発見することができる。	<b>A1</b> 経済体制の違いや経済主体・市場経済の仕組みを理解する	<b>B1</b> 市場経済の仕組みを需要・供給の法則から説明できる。	<b>C1</b> 今日の市場経済の問題点課題を発見し考察できる。
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>			

Others 備考	<評価方法>①一門一答用語試験問題 ②センター試験過去問題 ③国公立難関大過去論述問題 ④定期試験 <ICT> ①Google Form ②Keynote
--------------	--

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校 3 年RC文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	公民/政治経済	Class hours 時間数	6時間 / 週
----------------------------------	----------------	---------------------------------	---------	--------------------	---------

2 学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	経済編②：日本経済とその諸問題	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	書き込みノート 政治経済 (Gakken) 新政治・経済問題集 2300語 (清水書院)
------------------------------	-----------------	-------------------------------------	---

Unit Description 単元の概要	日本経済の諸問題、公害・環境問題、労働問題、社会保障問題、国際経済の中の日本を理解し入試問題に対応できる力を身につける。
---------------------------	--

Class Standards 評価規準				Learning Objectives 学習内容		
<b>楽</b>	<b>A3</b> 事象の因果関係を把握することができる。	<b>B3</b> 資料や出来事・制度を比較し、その特徴などを読み取ることができる。	<b>C3</b> 現代と未来に向けた議論の裏づけとなるデータを作成することができる。	<b>A3</b> 国際社会の中での日本の関わり、地域経済統合の現状を理解する。	<b>B3</b> 国際社会の中で日本のかかわりの現状を、説明することができる。	<b>C3</b> 国際社会の中での日本政府対応の課題を発見し、批判的考察を加え、自分の意見を表明できる。
<b>好</b>	<b>A2</b> 社会的事象を理解し、また それを他者に説明することができる。	<b>B2</b> 複数の資料から情報を読み取ることができる。	<b>C2</b> 仮説・推論を立て、資料を用いて自身の仮説・推論の妥当性を検証することができる。	<b>A2</b> 環境問題・労働問題・社会保障問題の概要を理解する。	<b>B2</b> 環境・労働・社会保障の問題の原因・経過・結果を説明できる。	<b>C2</b> 環境・労働・社会保障問題に対する政府の対応に対し批判的に考察し自分の意見を説明できる。
<b>知</b>	<b>A1</b> それぞれの単元の用語を理解することができる。	<b>B1</b> 公民的事象の因果関係を体系的に説明することができる。	<b>C1</b> それぞれの仕組み、制度や社会的事象の問題を自ら発見することができる。	<b>A1</b> 日本経済に関わる諸問題を整理し理解する	<b>B1</b> 日本経済に関わる諸問題の歴史的背景・経過・結果現状を説明できる。	<b>C1</b> 日本経済にかかわる諸問題の現状の課題を発見し考察できる。
	<b>Recognition</b>	<b>Logical Thinking</b>	<b>Creative Thinking</b>			

Others 備考	<評価方法>①一門一答用語試験問題 ②センター試験過去問題 ③国公立難関大過去論述問題 ④定期試験 <ICT> ①Google Form ②Keynote
--------------	--